

平成 31 年度特別選抜

小論文問題

注意事項

1. 開始の合図があるまで問題用紙を開けてはいけません。
2. 問題用紙・解答用紙の定められた欄に必ず受験番号を記入しなさい。
3. 問題用紙と解答用紙は別々になっています。表紙は切り離さずに解答しなさい。
4. 問題用紙は表紙を入れて 2 枚、解答用紙は 1 枚、その他に下書き用紙が 1 枚あります。
5. 解答時間は 60 分です。
6. 解答は解答用紙に横書きに記入しなさい。

受験番号	
------	--

山梨県立大学国際政策学部 平成 31 年度特別選抜

小論文 問題

【問】

国籍の取得には、^{しゅっしょうちしゅぎ}出生地主義と^{けっとうしゅぎ}血統主義という考え方がある。

出生地主義では、父母の国籍とは関係なく、子どもには生まれた国（出生地）の国籍が与えられる。出生地主義を採用している国には、アメリカやカナダなど、「移民国家」や「多民族国家」と呼ばれる国が含まれる。

血統主義では、その出生地に関係なく、子どもには父母の国籍が与えられる。日本や韓国などが血統主義に基づいている。血統主義の国々は、集団としての^{ぎょうしゅうせい}まとまり（凝集性）を重視しているとも指摘される。

あなたは国籍の取得について、出生地主義と血統主義のどちらが望ましいと考えるか。それぞれの特徴に言及しながら、自身の考えを理由とともに述べなさい。その際、「多様性」と「凝集性」という2つの用語を使わなければならない。なお、出生地主義と血統主義のどちらを望ましいと考えても、評価には影響しない。（800字以内）